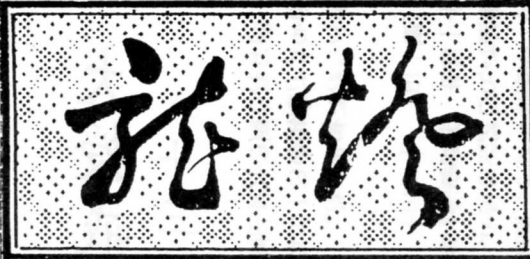


第34号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 龜 山 九 島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



加藤氏の乱と龍溪禪師

— 変革には大死一番の覚悟を —

大阪にオリンピックを！ 九条に中華街を！ 二十一世紀がはじまる年！

小紙に政治のことはふさわしくないが、一体あの『自民党、加藤氏の乱』は何だったのか？十一月九日に始まった自民党元幹事長加藤紘一氏の倒閣運動は野党も巻き込み、自民党分裂政界の再編成につながるかと、国民の注目を集めました。

盟友山崎拓元政調会長とともに、野党提出の内閣不信任決議案に同調し、森喜朗首相の退陣を求めましたが、野中広務幹事長ら執行部の小選挙区での公認調整を武器にした激しい切り崩しの前に、土壇場で加藤・山崎派議員が欠席するという、あけない結末でした。

このドタバタ騒ぎを通して、人間の弱さ、自民党の主流派から脅されておろおろする人間ドラマを見たのは小柄だけではないはず。

拙院のご開山龍溪禪師のご生涯は、さきに発表した慶讃ビデオをご覧いただくとして、今回の政変？劇を見て、龍溪禪師の偉大さを再認識しました。

徳川幕府が政権を握り、禁中

を始め宗教界から庶民社会に至まで圧迫を加え、また外国との交流を禁じた鎖国政策のため、国内全般に意気沈滞、特に仏教界も衰微の一途を辿っていた頃に、禪師はこの衰微した仏教界に一喝を入れんと、かねてよりその語録を通じて隠元禪師の禅風を知り、中国臨済宗の正脈を受け継ぐ真正の禅匠である隠元禪師の日本禅宗の総本山妙心寺への招請運動を画されました。

同志十人ばかりと、この運動に乗りだされたが、妙心寺内の一流相承（妙心寺開山関山慧玄の法系を承ぐ者が管長に就く）を標榜する主流派の強力な反対にあい、同志も次々と脱落し禪師一人になってしまいいついに妙心寺からも追放され除籍処分になってしまいました。

それでも、ひるむことなく龍溪は、隠元禪師に師事して、当時の新寺建立禁止という幕府の政策にもかかわらず、幕閣への運動が功を奏し、寛文元年（一六六一）、宇治大和田に黄檗山萬福寺が建立され、隠元禪師を

開祖とする日本黄檗宗を誕生させ、仏教界その他に大きな影響を与えました。

いづれの時代においても、既成勢力を打破して、新しい時代を築くことは、並大抵のことでありません。今回の政変？劇も、自民党の主流派から脅されておろおろする人間ドラマを見せつけられ、大きな力に翻弄される人間の弱さを思い知らされました。

「日本を変える！」長いドラマの第一幕が始まったと加藤氏は決起されましたが、あのような腰砕けの結末を迎えようとは。ただ一人になっても戦う気概がほしかった。

高杉晋作は、ただ一人決起し長州藩の藩論を倒幕へと引っ繰り返えしたように。龍溪など、歴史上の英雄の偉大さを思い知らされた十日間でした。



無念の表情の加藤氏

